

はぐくむ

広島市立中島小学校
ことばの教室だより
(平成24年 5月)

ごあいさつ

中島小学校長 久松ひとみ

「やらない後悔より、やって後悔したほうがずっといい。
何かを始めなきゃ何も始まらない」



ふと手にした「子育てマンガ」。そのあとがきに書いてあった作者のことばです。

嵐吹きすさぶ思春期を何とか乗り越えた母親作家の作品ですから、面白おかしく描かれてはいますが、その向こうに悩み、苦しむ姿が見えるのは、私も同じ「親育ち」という道を辿ってきたからでしょうか。

我が子は何人いたとしても、なぜか違う一人一人。上の子どもには成功した作戦が下の子どもには通用しないということがあります。もちろん、その逆も起こります。

当然です。子ども一人一人が「オンリーワン」ですから。

だから、親子共々失敗を恐れず「何かを始めましょう」。

なかなかスムーズに進みにくい子育ても、いつもは優しく、時に厳しい一言で救われることがあります。よりよいアドバイザーになることも、学校教育に携わる者に求められることのひとつだと思います。

本校の「ことばの教室」は、昭和42年4月に広島市で最初の言語治療教室として開設された長い歴史をもつ通級指導教室です。

本年度も、石田さと子教諭・古本直子教諭の二人が、積み上げてきた経験と身に付けた技術、そして何より教育への熱意をもって指導してまいります。

保護者の皆様、手と心をつなぎ合い、共に子どもたちを見守ってまいります。

ことばの教室は こんなところです

◆ことばの教室には、週1回から数回、決められた曜日・時間に通って学習します。

◆ことばの教室には、次のような子どもたちが通ってきます。



◎発音に課題のある子ども

(例えば、「サル」を「タル」、
「カメ」を「タメ」のように発音するなど)

◎話のリズムに課題のある子ども (吃音)

(例えば、話し始めのことばが出にくかったり、「ガガガッコウ」のようにことばを繰り返したり、「トーモグチ」のようにある音を引き伸ばしたり、話の途中でつまったりするなど)

◎ことばの発達に課題のある子ども

(例えば、ことばの数が少なかったり、文がつながらなかったりするなど)

◎その他、ことばに課題のある子ども

◆中島小学校のことばの教室には、主に中区、西区に住んでいる子どもたちが通ってきます。

※ことばのことで気になることがありましたら、いつでもご相談ください。



広島市立中島小学校 ☎ 241-1757

FAX 248-3157

ことばの教室直通 ☎ 243-0421